

みなとぴあボランティアレター 第32号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2017.3

2016年度下半期のボランティアの活動についてご紹介します。

11/13 もちつき

みなとぴあで行うもちつき大会には、ボランティアのみなさんのご協力が欠かせません。昨年度は、ノロウイルスの流行により実施を控えましたが、子どもたちに大好評のこの行事を、ぜひ行いたいという声がボランティアの方々から上がっていました。そこで、今年度は流行し始める前の11月に、開催中のむかしのくらし展「体と道具」の関連イベントとして、本館エントランスホールにて実施しました。



もちつきの道具一式は、おもちやあんこなどとともに、いつも田中屋本店さんにお世話になっています。こちらで用意する道具も十分に殺菌し、ボランティア含めスタッフはエプロンにキャップや手拭いをかぶって準備万端！もちが運び込まれた頃には、嬉しいことにお客様の長蛇の列ができていました。

もちつき大会の醍醐味は、実際に杵で臼の中のもちをつくという体験です。それ自体の重さで振り下ろす杵を持ち上げるのは、子どもたちにはひと苦勞。ボランティアスタッフもサポートして、大きな杵を振り上げます。やってみたいという子の列はなかなか途絶えませんでした。

つきあがったもちは、大急ぎで一口サイズに分け、それぞれお好きな味をトッピングしてお配りしていきます。ここはボランティアの方々のチームワークのサポートがないと成り立ちません。

大仕事のイベントですが、喜んでおもちをほおぼっている子どもたちの様子に、スタッフのほうも嬉しくなります。みなさま、誠におつかれさまでした。



11/17 ボランティア研修旅行

今年度の研修旅行は、常設展示で紹介している新川底樋埋設工事や、明治29（1896）年の横田切れ、大河津分水などの現地を訪ねました。ガイドする上で、展示はもちろん、学芸員の解説や文献資料で内容を承知しているところですが、現地を、しかもまとめて訪ねることはなかなかできないことです。幹事の宮栄承さんのご提案から、吉田幸二さん、相馬とし子さんにお手伝いいただいて実施しました。ありがとうございました。

まずは新川と交差する西川の立体水路橋へ。現地では、「越後新川まちおこしの会」の佐藤正人さんにご説明いただきました。これは同会にも所属されている、当館ボランティアの田中隆さんに仲介いただいて実現しました。水路橋よりやや下流に位置する旭橋からの出発です。そのあたりは昔の土手が残っており、もと約75メー



トルもあったという西川の幅が想像できる場所になっています。

水路橋の西詰には、埋設底樋に代わり、大正期に造られた新川暗閘（あんこう）の実際の銘板の一部と暗閘の実物大模型があり、その大きさを実感することができました。

江戸時代、新川普請のために人力で掘り割った金蔵坂には、現在新川大橋が架かっています。新川の西岸を登っていき、約20メートルの高さを体感しました。

その後、工事に尽力した伊藤五郎左衛門の菩提寺である蓮久寺、その終焉の地とされている中野小屋連絡所にも立ち寄りしました。ずっと同行して詳細にご案内くださった佐藤さん、誠にありがとうございました。

午後は一気に燕市の大河津資料館へ。なんとといっても見どころは4階の展望室です。信濃川から分流する大河津分水の様子を実際に見渡すことができます。

資料館がある分流地点から6キロメートル程信濃川を下ったあたりに、横田切れ公園があります。ここは横田破堤の場所です。いまでは川岸は500メートル程遠くになっていました。小雨の降る中でしたが、信濃川岸まで歩いてみました。やや高くなった土手から、信濃川と破堤地点を眺めました。

最後は、出発点の西川水路橋近くにある宝光院です。ここにある柱には、横田切れで浸水した際の跡がいまも残っています。そして、住職夫人の解良節子さんが当時の話を聞き集め、現代に語り継いでいます。浸水した際、建具を仮床としてピタピタと水音がする中で寝起きしたという話を、とてもリアルに語っていただきました。



11/10 ボランティア交流会

新潟市が管理する歴史系博物館・資料館のボランティアに呼びかけて行うボランティア交流会は、今年度で2度目の開催でした。北区郷土博物館、江南区郷土資料館、旧笹川家住宅、岩室民俗史料館、文化財センター、新津鉄道資料館、旧小澤家住宅、そしてみなとびあから計24名が集まりました。

前半は、みなとびあのボランティアが、常設展示室のガイドとたいけんのひろばでの小学生への道具の説明を行い、その活動をご紹介します。後半は、セミナー室で自由な意見交換を行いました。意見交換では、簡単な自己紹介からはじまり、各館のおすすめや、広報など活動PRのしかたなど、さまざまな話題があがっていました。

開催後のアンケートでは、またこのような機会があれば参加したいという方がほとんどで、みなさんそれぞれ少なからず得るところがあったようです。ほかの施設のボランティア活動も知りたいといった声が多く、来年度はぜひそれを実行してみたいと思います。

1/22 新年会

2017年の新年会は新潟駅前の魚銭（うおせん）で開催されました。なんとカニやお寿司、デザートまで含めて食べ放題！しかも、追加注文の声が次々とあがる！みなさんのお元気を改めて目の当たりにした新年会でした。

幹事の渡辺彰さん、山宮不二夫さん、誠にありがとうございました。

2/2・3/3 よろい研究会



5月のたいけんプログラム「愛のかぶとをつくろう」で、お子さんが折り紙で作るかぶとに合わせて着られるよろいを作ろう！というアイデアから始まったよろい研究会。ダンボールなど身近な材料でありながら、会に有志で集まるボランティアのみなさんの根気よい下調べと丁寧な手技によって、立派なよろいが形となっています。作り手のみなさんによれば未完成とのことですが、素人目には驚くべき仕上がりです。すでに2016年5月には、着用体験も実施されました。

以前から話にはあがっていたようですが、今年に入り、大人用のよろいを作ってみようという取り組みもはじまっています。

2/18 より新規ボランティア研修中！

2月18日（土）の研修説明会より、また新たなメンバーがボランティアに挑戦してくださっています。今回は計6名と少なめですが、その分和気あいあいとした雰囲気があるように感じます。

ぜひ4月以降もみなとびあへ来ていただいで、気楽に気長に活動を続けてほしいと思います。



ガイドユニフォーム

お待たせしました！近年じわじわとご要望の声が集まっていたガイドユニフォームが、ついに登場します。

これまでイベントアンケートや日々のガイド、とくにフリーガイドにおいて、よりボランティアガイドだと分かりやすいユニフォームがぜひ欲しいという意見があがっていました。名札や腕章だけだと目立たず、声をかけたお客様を戸惑わせてしまうことも多かったとのことです。

9月より定例会で話し合いが始まり、ボランティア通信などを通じて形や色の選択にご協力を呼びかけて、投票を経て決定しました。また詳しくは4月9日（日）の総会でお伝えしたいと思います。

ボランティアフェスティバル 2017

2017年4月16日(日) 10:30~15:30 *雨天決行

【みなとぴあを満喫】

●体験プログラム *受付は 15:00 まで

桜の折り紙、新聞紙でカンタン凧作り、紙ヒコーキ作り、折り紙かぶとと手作りよろいの着用体験(お子さん用)、紙しばい(10:30~12:00)など、遊べるプログラム満載♪

●敷地ガイドツアー

30分程、本館入口にて受付

①10:30- ②12:00- ③12:30- ④13:00-

●常設クイズラリー

11:00~13:00、本館2階常設展示室にて随時受付
クイズに全部答えたら景品贈呈！

※観覧券が必要

(一般¥300、大学生・高校生¥200、小・中学生は無料)

【みなとぴあでお花見】

●春のお茶席：桜の下でお茶とお菓子をお楽しみください

●出店：みなと街ベーカリー・おにぎり専業めくもり屋

●持込みもOK！※ゴミはお持ち帰りをお願いします。

【スペシャル企画】

●旧新潟税関庁舎工事説明会

①11:00- ②12:00- ③14:00- ④15:00-

各回20人ずつ(先着)、本館入口にて10:30-受付

【堀と桜のコンサート】同日開催！

13:30-15:30 芝生広場にて ※雨天中止

(主催：下町をよくする会)

2017年のボランティアフェスティバルは、桜の季節に合わせて、新年度早々に開催します！

桜の季節に合わせての開催です。すでにスタッフ参加についてアンケートを実施しており、各準備も着々と進んでいます。

今年は、旧新潟税関庁舎が改修工事中のため休館していますが、この機会にその中を特別にご案内し、工事状況をお知らせする企画も準備しています。また、「下町をよくする会」が主催する毎年恒例の「堀と桜のコンサート」も同日開催！にぎやかな1日になりそうです。



3月12日(日)の定例会後のフェス打合せの様子

【編集後記】

32号では、秋・冬も活発なボランティア活動の様子をお伝えしました。昨年の真夏に開催したボラフェスは、その反省も活かしてさっそく春の開催です。何かと忙しい時期、スタッフとしては参加できない方も、ぜひ遊びに来てください。そしてスタッフの方々自身も楽しめる、余裕のあるイベントにしたいですね。(中村)

2016. 4. 6 現在

みなとぴあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港150周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

